

## 財務諸表に対する注記

### 1、重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法  
建物及び什器備品・・・定額法によっている。  
(2) 消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2、基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
(1) 俳諧資料	335,200,568	0	0	335,200,568
(2) 基本財産引当資産	36,300,000	0	0	36,300,000
小 計	371,500,568	0	0	371,500,568
特定資産				
(1) 退職給付引当資産	7,347,331	794,716	0	8,142,047
(2) 俳諧資料購入引当資産	2,175,618	0	2,175,618	0
(3) 俳句資料室事業引当資産	5,074,505	0	275,418	4,799,087
(4) 建物附属設備	16,450,617	0	16,450,617	0
小 計	31,048,071	794,716	18,901,653	12,941,134
合 計	402,548,639	794,716	18,901,653	384,441,702

### 3、基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
(1) 俳諧資料	335,200,568	(0)	(335,200,568)	(0)
(2) 基本財産引当資産	36,300,000	(0)	(36,300,000)	(0)
小 計	371,500,568	(0)	(371,500,568)	(0)
特定資産				
(1) 退職給付引当資産	8,142,047	(0)	(8,142,047)	(8,142,047)
(2) 俳諧資料購入引当資産	0	(0)	(0)	(0)
(3) 俳句資料室事業引当資産	4,799,087	(4,799,087)	(0)	(0)
(4) 建物附属設備	0	(0)	(0)	(0)
小 計	12,941,134	(4,799,087)	(8,142,047)	(8,142,047)
合 計	384,441,702	(4,799,087)	(379,642,615)	(8,142,047)

### 4、固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	0	0	0
什器備品	5,400,231	4,674,299	725,932
合 計	5,400,231	4,674,299	725,932